

# ガンバレ！！いしかわ農業の担い手たち！ ～新規就農者からのメッセージ～

## 「自休自足の生活に憧れて」…新たなスタート！

ニューファーマー  
西田 吉造(57歳)

プロフィール  
石川県珠洲市生まれ、白山市在住。  
平成17年ホンダディーラーを早期退社し、同年、アグリ塾休日コースを受講。  
平成18年より白山市で農地を借り、55歳から新たに営農をスタートさせた。  
20aの畑のうち、14aで白山市ではめずらしいアスパラガス栽培を行っている。また、施設野菜(1.5a)と露地野菜(4.5a)を年間20種類以上栽培し、地元の直売所「まいどさん市場」で「西パラ畑」という名前で販売している。



### 就農のきっかけから実際の就農まで

子供の頃から家庭菜園の手伝いをして、農業に興味がなかったわけではないのですが、50歳を過ぎてから職場での自分の将来が見えるようになってきて、雑誌やテレビ番組で、タレントさんや作家さんが農業をやりながら悠々自適の生活をされている姿に憧れを感じるようになってきたのがきっかけだと思います。

そうなってくると、自分でも情報収集をするようになって石川県のホームページからアグリ塾を知ることができたんです。そして、この塾は「本当の農業を学べる所」ということがわかり、覚悟を決めるため仕事を辞めて受講しました。

塾を卒業した後は、農林総合事務所の方が私の話を真剣に聞いてくれ「ああ、本当に就農するんだなあ」という実感が湧いてきました。

就農にあたって苦労したのは農地の確保で、年内には堆肥を入れたかったので、色々な所へ出向いては情報を集めました。最終的にいい所を農協さんに紹介してもらえたと喜んでいました。

最後に、成人した娘が「1人の人間としてお父さん自身が納得できる生き方をすればいい」と賛成してくれたことが、私の就農活動を支えてくれたのだと思います！

### 就農してから現在まで

就農してからの野菜づくりは、経験則ではなく、アグリ塾で教わった、植物が育つ環境づくりが活きていると思います。それでも色々な失敗を繰り返しましたよ。形は綺麗なメロンだけど、味がしなかったり、人参やゴボウをとり遅れで破裂させたり。あと、トウモロコシやキャベツなんかは虫にやられました。モンシロチョウがあれほど憎く感じたことはなかったですね。病害虫とか、困った時の相談窓口としては、農林総合事務所を利用させてもらっています。

それから、私の様な定年組にとって、直売所の存在は大きかったですね。規格もなく、少量でも出荷できて、量や値段も自分で決められますし。自分のつくった野菜を買ってもらえるのは嬉しかったですよ。多少は別にして現金収入が見込めるのは、農業を続けていく上で重要だと思っています。

最近、アスパラガスの株が大きくなってきたので「散髪屋さん」にいそしんでいます。私の様な年金+ の農家が増えれば、都会に出た子供や孫らに野菜を仕送りしたりもするでしょうし、スーパーで野菜が作られているなんて言う子供が少なくなるかもしれませんね。

将来はこんな農業をめざします！  
昔の農業を科学的に理解して、資源が循環できる農業をめざす。  
土の中から生命を頂いていることを子や孫らに伝えたい。

### 今後就農を目指す人へ

最近の若い人は、マスコミや雑誌の影響で、有機や無農薬栽培を目指す人が多い様ですが、専業農家並の栽培技術を身につけてからチャレンジすれば良いと思います。

また、定年組の皆さんには農業だけでなく、クリエイティブな趣味を持つ事をお奨めしますよ。

ちなみに私は水墨画を楽しんでいます！

### 農林事務所所長よりひとこと

1級自動車整備士という技術者らしく中々の理論派。車という無機質な相手から気まぐれな自然の中での有機質な相手への転換は、苦労も多いが思いどおり収穫された時の喜びは格別のことと思います。とびっきりの笑顔が全てを物語っています。西田さんのパラダイスでつくるアスパラが「まいどさん市場」のトップブランドになるよう、事務所も精一杯応援します。